

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	体育施設指定管理者事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	スポーツ振興課				
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり	主管課長	寺門 宏晋				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市体育施設利用者	意図	民間の創意工夫やノウハウを活用することで、利用者の満足度が向上できる。
事業内容	市民の健康づくり、体力づくりはもちろん、公式大会が行えるスポーツ活動の場として活用を目指しており、民間の創意工夫やノウハウを活用する指定管理者制度を導入することで、効率的かつ質の高い公共サービスを提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	施設運営にあたっては、利用者ニーズに応えながら、日常的な維持管理を行い、市民により効率的かつ質の高い公共サービスを提供している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	流山市体育施設利用者数	435,532	475,568	531,160	人	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事務事業の総コスト(a=b+c)	38,544,250	38,626,940	38,903,000	
事業費(b)(円)	36,828,000	36,948,940	37,255,000	
うち一般財源	36,828,000	36,948,940	37,255,000	
職員給与費(c)(円)	1,716,250	1,678,000	1,648,000	
人役・職員(人)	0.25	0.25	0.25	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	—	③取組における課題(Check)	各種団体の円滑な利用や、施設の適正な管理に努めていく。
②H30に実施した取組(Do)	利用団体の要望に応じ、各スポーツ施設の適切な維持管理に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	各スポーツ施設の利用について、引き続き指定管理者と日常的に協議を行っていく。